

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第26号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:石塚悟史

はじめに

第1回こうちビジネスチャレンジ基金事業 (通称:日本トリム基金事業)が公募中!

高知県産業振興センターでは、優れたビジネスプランをお持ちの事業者に対し、ビジネスの立ち上がりを支援する基金を新設いたしました。

新規性・独創性、事業の可能性・将来性、代表者の起業・事業化への意欲等をポイントに評価し、「こうちビジネスプラン」として認定されます。認定されたプランには、最大1,000万円(1件あたり)、総額2,600万円以内の事業育成支援金が提供されます。また、プランの具体化、販路開拓等が様々な形でサポートされます。

高知県内の企業との共同研究・共同開発に関心のある方は、当センター産学官連携部門までご連絡ください。応募に関する詳細は、高知県産業振興センターHPをご覧ください。

<http://www.joho-kochi.or.jp/challenge/index.html>



目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 高知大学・高知市コーディネーター会議

Topic2. 地域連携活動を月刊生涯学習7月号に寄稿

p3 産学官連携部門

Topic1. 第7回産学官民コミュニティ全国大会 & TMS
発足1周年記念定例会(予告)のご案内

p4 知的財産部門

Topic1. COSME TEC 2013

-第4回国際化粧品開発展 アカデミックフォーラム出展報告-

Topic2 高知県産業振興センター 知財の勉強会のご案内

-基礎的な産業財産権の知識や、知財の利活用
の先例について学ぶ-

p5 国際連携部門

Topic1. 国際連携部門講演会 & ワークショップを開催

Topic2. ジェトロ・高知大学グローバル人材育成事業

Topic 1. 第7回産学官民コミュニティ全国大会&TMS 発足1周年記念定例会(予告)のご案内

～始まる予感 つながる心 時代を拓く志～

産学官民連携に取り組む全国で活動する同じ思いを持った同志が一堂に会し、業種や分野、所属や肩書き、年齢、性別、国・地域を越えて、ひとりの人間としてフラットな関係で、双方向のコミュニケーションを深めることにより、さらに一層、知の創造やイノベーション創出に結びつける機会となるものと期待して開催します。全国から産学官民連携活動に関わるキーマンが高知に集いますので、ご関心のある方のお越しをお待ちしています。個人の参加も歓迎します。

開催日時:平成25年10月19日(土)13:00～19:30

開催場所:高知県立大学永国寺キャンパス(〒780-8515 高知市永国寺町5-15)

全体会(203教室)、分科会(202教室、205教室、251教室)

<http://www.u-kochi.ac.jp/access/eikokuji.htm>

交流会場:高知城ホール(〒780-0850 高知県高知市丸ノ内二丁目1番10号)

<http://www.kochijohall.jp/>

参加費:4,000円(ただし、交流会費を含む。講演会のみは1,000円)

主催:土佐まるごと社中(TMS)

共催(予定):高知短期大学、土佐経済同友会、四国ヒューマンカルチャー

後援(予定):文部科学省、経済産業省、法務省、高知県、高知市、高知県産学官連携会議、岩手ネットワークシステム(INS)、関西ネットワークシステム(KNS)、高知大学、高知工科大学、高知県立大学、高知学園短期大学、高知工業高等専門学校、公益財団法人高知県産業振興センター、高知県商工会議所連合会、高知県商工会連合会、高知県中小企業団体中央会、高知県経営者協会、高知県工業会、高知県中小企業家同友会、高知ニュービジネス協議会、四国銀行、高知銀行、NPO法人産学連携学会、NPO法人ITCこうち

スケジュール:

12:30 受付開始

13:00～ 開会挨拶 TMS世話人

13:05～ 歓迎挨拶 尾崎 正直氏 高知県知事(予定)

13:15～ 応援メッセージ 文部科学省産業連携・地域支援課、経済産業省大学連携推進課

13:45～ 基調講演 西田 博氏 法務省矯正局長(予定)

「震災復興における支援と法務省の産学官民連携による取り組み」(仮題)

14:15～ 高知県における産学官民連携の取り組み事例(4件)

15:15～ 休憩(15分)

15:30～ プレゼンテーション大会ー産学官民コミュニティ活動報告(3会場)

全国各地で産学官民連携等により地域活性化に向け取り組む皆さん(30人)による1人10分のプレゼンテーションを3会場で実施:1会場あたり10人のプレゼンテーション

17:10に終了予定。交流会場に移動。

17:30～ 大交流会 高知城ホール

挨拶及び乾杯 岡崎 誠也氏 高知市長(予定)

【問い合わせ先】

土佐まるごと社中(TMS)事務局(高知大学国際・地域連携センター内) 石塚悟史

電話:088-844-8555 FAX:088-844-8556

メール:jimu@tosa-ms.jp 公式ブログ:<http://blog.tosa-ms.jp/>

Topic 1. COSME TEC 2013

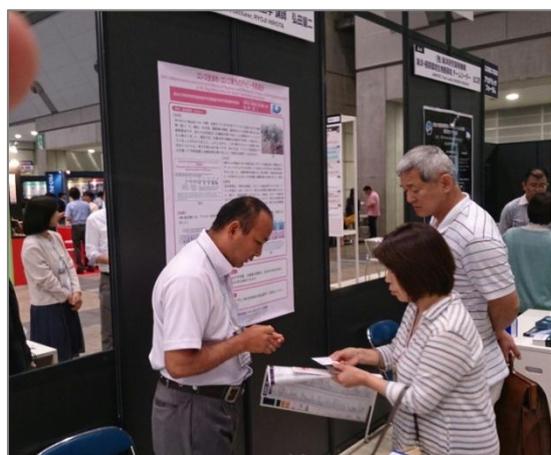
－第4回国際化粧品開発展 アカデミックフォーラム出展報告－

6月26日（水）～28日（金）の間、東京ビッグサイトで、化粧品原料、OEM、容器/パッケージ、研究機器など、化粧品の研究・企画開発に必要なあらゆる製品・サービスが一堂に出展する専門展示会「COSME TEC 2013」が開催されました。

本学からは、連携医学部門の弘田量二講師が出展し、研究発表、ポスター展示を行いました。セミナーは来場者に大変好評で、立ち見が出るほどでした。今後の企業とのマッチングが期待されます。

【発表者】 教育研究部 医療学系 連携医学部門 弘田量二 講師

「抗かゆみ抗炎症効果に優れた植物エキスを用いた医薬部外品開発」



Topic 2. 高知県産業振興センター 知財の勉強会のご案内

－基礎的な産業財産権の知識や、知財の利活用の先例について学ぶ－

経営上の課題があり、そのことに対応する方法を模索している企業、及び、経営資源がまだまだ不足していて、成長途上と感じておられる企業等の、特に、開発研究部門に所属されている方を対象に、「第1回 知財の勉強会」が高知ぢばさんセンターにて開催されます。

高知県産業振興センター産業連携推進部参事(知財担当)栗本博樹弁理士の講義により、基礎的な産業財産権の知識や知財の利活用の先例について学びます。ぜひご参加ください。

第1回 知財の勉強会

日時：平成25年8月6日(火曜日) 14時～16時

申込期限：平成25年7月30日(火)

定員：30人程度(特に、開発研究部門に所属されている方)

会場：高知ぢばさんセンター（高知市布師田 3992-2）

問合せ先：高知県産業振興センター 産業連携推進部 TEL:088-845-6600 FAX:088-846-2556

参加申し込みはホームページより可能です。http://www.joho-kochi.or.jp/25/25_chizai_semi.html

Topic 1. 国際連携部門講演会&ワークショップを開催

国際・地域連携センター国際連携部門主催事業として、大阪大学大学院文学研究科日本語学講座石井正彦教授を講師に迎え日本語の書きことばに関する講演会及びワークショップを6月15日(土)に開催しました。

講演会及びワークショップでは、日本語の書きことばとして、新聞記事や学術的な文章にその場限りの合成語として頻繁に現れる「臨時一語」について、その特徴や機能の視点、文章読解や作文教育への展開がテーマに進められました。日本語教育関係者をはじめ本学日本人学生や外国人留学生、地域住民が参加し、「いつも何気なく見ている文章の奥深さを感じた。あまり今まで深く考えたことがない内容だったので興味深かった。」などの意見が聞かれました。

参加人員 51 名(学外者 10 名、本学教職員 12 名、本学外国人留学生 22 名、DC セミナー等による参加学生 7 名)



講師による講演



ワークショップ

Topic2. ジェトロ・高知大学グローバル人材育成事業

本学と日本貿易振興機構（ジェトロ）高知貿易情報センターとが連携して、海外実施研修事業などを通して、国際人材育成事業に取り組むこととなりました。

海外実施研修は、食品の海外輸出を想定した1週間程度の短期研修で、土佐 FBC 人材創出コースに関連する企業参加者 3 名と学生 3 名と一緒に香港での現地企業との意見交換や展示会などに参加し、実際の海外ビジネスを体験するもの。

6月26日(水)には、第1回事前準備会が開催され、海外実施研修事業(香港)に参加する FBC 関連企業の社員 3 名及び学生 3 名等が出席しました。受田国際・地域連携センター長及び田代独立行政法人日本貿易振興機構高知貿易情報センター所長による挨拶の後、講師による海外ビジネスの貿易実務の講演、企業参加者による学生のための会社及び商品説明などが行われました。

事前準備会を7月、8月に引続き行い、8月中旬に香港で海外実施研修事業が行われ、帰国後、報告会が開催される予定。



講師による貿易実務の講演



企業参加者による会社及び商品説明